

「国勢調査は、国の動きを調べる調査といふことか？」
 「国勢」とは、国の情勢のこと。今、この国がどんな状態で、今後どのようになっていくかという動きのことなんだ。

「国勢調査は、国の動きを調べる調査といふことか？」
 そうだね。国勢調査で分かることはいろいろあるけど、例えば人

本松 佑斗 くん
 国勢調査について調べる伊方小の4年生。趣味は工作。

松村 俊明 さん
 役場企画振興課で、今回の国勢調査を担当する職員。

もうすぐ行われる国勢調査に興味を持った佑斗くんは、早速、役場の松村さんに質問してみました。今回は二人の会話から国勢調査について探ります。

「初めて国勢調査が行われた大正9年から前回の平成17年までの85年の間に、日本の人口は2倍以上になったんだ。だけど昭和55年ごろから15歳未満の人口が減り始め、平成7年からは生産年齢と呼ばれる15〜64歳の人口も減少。そして5年前の国勢調査では、日本の人口に占める65歳以上の割合が21.0%と世界最高となり、15歳未満は13.6%で世界最低、つまり高齢化・少子化とも世界で最も進行した国になったことが分かったんだよ。」

「そうだったんだ！人口の動きを調べただけでも、問題点が見えてくるんだね。国勢調査って大切な調査なんだな！」

「住宅・土地統計調査」や「全国消費実態調査」など多くの統計調査がある中でも、国勢調査は最も基本的な統計調査と言われている。そのデータは、佑斗くんたちの教科書に載っている資料など、幅広いところで基礎資料として使われているんだよ。

「ふむふむ。ところで「対象は日本に住むすべての人」って書いてあったけど、ボクも対象なの？」
 もちろん。国勢調査は生まれたばかりの赤ちゃんや外国人も含め、10月1日現在で日本に住ん

「文明国の仲間入り」を合い言葉に

「国勢調査はみんなのデータをまとめて、正確な統計をとることが目的なんだ。正確な統計は、ありのままの実態を把握して、傾向や問題点、対策を考えたりするのに役立つんだよ。そのためには、一人ひとりに正しい情報を書いてもらうことが、絶対に必要なんだ。なるほど、ボクも回答しなきゃ。でも、なんとなく難しそう...。」

「よし。じゃあ次のページでは、実際の調査の流れを説明するね！」

※ 調査票は集計後、再生紙に生まれ変わります。

pick up
 国勢調査と普通交付税の関係 —正しい結果の集計にご理解を①—

町の歳入の大きな割合を占める普通交付税。町に必要な財源を保障するため国から交付されるもので、21年度は約49億9千万円が交付されています。じつはこの交付税も国勢調査と深いかわりがあり、算定の際に人口や世帯数など国勢調査の結果(数値)が用いられているのです。つまり国勢調査で正しい数値が得られなければ、交付税額も変わってくるということ。みなさん一人ひとりのご理解と正確な回答をお願いします。



初の国勢調査は近代統計調査の幕開けといえるもので、計画から実施まで非常に長い年月を要したこともあり、国民を含め大変な意気込みで行われたようです。「文明国の仲間入り」を合い言葉に、10月1日午前0時には各地でサイレンや大砲、太鼓が鳴り、国を挙げての一大イベントとなりました。



↑ 第1回国勢調査のポスターと記念章

総務省統計局が平成22年10月1日現在で行う全国一斉調査です！

2010
国勢調査

国勢調査は大正9年(1920年)にはじまって以来5年ごとに実施され、今回で19回目の調査になります。日本に住むすべての人を対象とした大きな調査ですが、その結果は、わたしたちの暮らしにも役立てられます。



過去18回(大正9年~平成17年)の国勢調査の人口推移グラフ。